

■1976年～2006年3月

リコーグループの活動		活動に対する社会からの評価	
1976年	環境推進室設立	1993年 5月	リコーUKプロダクツの複写機感光体ドラムリサイクル技術が「英国女王賞(Queen's Award)」受賞
1990年12月	環境対策室設立	9月	リコーUKプロダクツの消費電力削減活動が「Business Energy Award 最優秀賞」受賞
1992年 2月	リコー環境綱領を制定	1994年 5月	リコーUKプロダクツの複写機感光体ドラムリサイクル技術が、「ヨーロッパ産業環境賞」受賞
3月	複写機FT5570がブルーエンジェルマーク(初版)を取得	1995年 3月	リコーの環境製品アセスメントとリサイクル対応設計推進事業が「再資源化開発事業など表彰 通産大臣賞」受賞
1993年 3月	リコー、オゾン層破壊物質(特定フロン、特定ハロン、四塩化炭素など)の全廃を達成	1997年 3月	米国リコーコーポレーションが「エネルギースター 複写機部門賞」受賞
5月	リサイクル製品設計基本方針を公表、リサイクル対応設計レベル1施行	1998年12月	日本経済新聞社「第2回企業の環境経営度調査」で、リコーが第1位
5月	プラスチック部品への材料名表示を開始	1999年11月	リコーが、国際エネルギー機関(IEA)主催のDSMプログラム第1回未来複写機部門で「省エネ技術賞」受賞
12月	リコーグループ、オゾン層破壊物質(特定フロン、特定ハロン、四塩化炭素など)の全廃を達成	2000年 3月	米国リコーコーポレーションが、エネルギースタープログラムで「総合大賞」を含む3賞を同時受賞(エネルギースター賞は5年連続受賞)
1994年 8月	コメットサークルの概念が完成	6月	リコー、「第10回朝日新聞文化財団企業の社会貢献度賞 大賞」受賞
11月	プラスチック部品に材料名およびグレード表示を開始	12月	リコー、日本経済新聞社「第4回環境経営度調査」で3年連続第1位
1995年 2月	第1回リコー全社環境大会を開催	2001年 7月	リコーは、米国イノベスト・ストラテジック・パリュウ・アドバイザーズ社が実施した環境格付けで、写真・事務機器部門での最高スコア「AAA」と評価され、世界第1位
10月	エネルギースター対応製品を公表	12月	リコーが、英国フィナンシャルタイムズ紙調査のCEOが選ぶ環境保全に優れた会社部門で世界第7位
12月	リコー御殿場工場がISO14001認証を取得(日本の認証機関による第1号の認証)	2002年 5月	リコーが、ドイツのエコム社による「企業の社会的責任」格付けにおいてOA機器・家電部門で世界第1位
1996年 7月	リコーUKプロダクツがBS7750/ISO14001の認証を取得	2003年 4月	リコーが、「第12回地球環境大賞 大賞」受賞
1997年 3月	79種類の管理化学物質を設定	5月	リコーが、「2003年WECゴールドメダル」受賞
1998年 4月	リコーリサイクル事業部が発足	11月	リコーが、「第6回グリーン購入大賞 経済産業大臣賞」受賞
5月	リコーグループグリーン調達ガイドラインを発行	2004年 2月	imagio Neo 752/602シリーズが、「第14回省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞」受賞
10月	リコー福井事業所が再資源化率100%(ごみゼロ)を達成	12月	リコー、日本経済新聞社「第8回環境経営度調査」で第1位(4回目)
1999年 1月	1998年版リコーグループ環境報告書を発行	2005年 1月	リコーが、The World Economic Forum(世界経済フォーラム:通称ダボス会議)に合わせて発表される「持続可能なグローバル企業トップ100社」に選定
9月	リコー、初めての環境会計を公表	7月	リコーが、ドイツのエコム社による「企業の社会的責任」格付けで世界第1位(IT産業部門)
2000年 1月	リコー、複写機28機種でエコマークを取得	11月	リコーの環境広告が、第45回消費者のためになった広告コンクールの「雑誌部門・金賞」受賞
2月	リコーのデジタル複合機 imagio MF6550が、タイプⅢ環境宣言の認証を取得(認証機関はBVQIスウェーデン)		
3月	第1回 グローバルリサイクル会議を開催		
2001年 7月	リコー、e-mission55(イーミッション55)に参加を表明		
12月	環境調和型デジタル複合機 imagio MF6550RCをレンタル専用機として商品化		
2002年 1月	第1回 リコーグリーン調達大会を開催		
3月	リコーグループ世界主要生産拠点が、再資源化率100%(ごみゼロ)を達成		
4月	リコーが、国連「グローバル・コンパクト」に参加表明		
9月	リコーが、(社)産業環境管理協会(JEMAI)が運営するタイプⅢ環境ラベル「エコリーフ」のシステム認定取得		
11月	リコー大森事業所「騒音試験所」が、米国NISTからISO/IEC17025の認定取得		
12月	リコーグループ、第1回環境経営活動賞 表彰を実施		
2003年 1月	リコーCSR室を開設		
6月	リコーが、紙製品に関する環境規定を制定		
2004年 1月	リコーが、「リコーグループ 行動規範」「リコーグループCSR憲章」を施行		
10月	リコー大森事業所のVOC試験所が、独BAMからメーカーとして世界初の認証を取得		
2005年 5月	全世界の高校生を対象にした科学コンテストISEF(国際学生科学技術コンテスト)で「リコー持続可能発展賞」授与		
7月	リコーRS事業部が「エコレールマーク」認定取得		
8月	リコーが、中国のタイプⅠ環境ラベルを初めて取得		
12月	高速デジタル複合機 imagio Neo 602ec/752ecの筐体の一部に複写機・プリンター業界では初となる植物由来プラスチックを採用		
2006年 2月	東北リコーで、使用済ペットボトルを緩衝部材として使った「循環型エコ包装」がスタート		
3月	日本国内のリコーグループが、製品含有化学物質マネジメントシステムを構築		

※ 詳細はホームページをご覧ください。(http://www.rioh.co.jp/ecology/history/index.html)

■2006年度 (2006年4月～2007年3月)

リコーグループの活動		活動に対する社会からの評価	
2006年 5月	省エネ技術「カラー-QSU」を搭載したデジタルカラー複合機 imagio MP C4500/C3500シリーズを新発売	2006年 4月	リコーグループが、トーマツ審査評価機構「環境格付け」で最高評価「AAA」を2年連続で受ける
5月	リコー・桜井社長が、コフィー・アナン国連事務総長と日本の「国連グローバル・コンパクト」参加企業の経営者との意見交換会でスピーチ	5月	リコーグループサステナビリティ・レポート2005(環境経営報告書/社会的責任経営報告書/アニュアル・レポート)が、第9回環境報告書賞の「サステナビリティ報告書賞・優良賞」を受賞
5月	全世界の高校生を対象にした科学コンテスト ISEF (国際学生科学技術コンテスト)で「リコー持続可能発展賞」を授与	5月	2005年度リコー福井事業所環境報告書が、第9回環境報告書賞の「サイトレポート継続優秀賞」を受賞
5月	第21回リコー自然教室・初級編を九州で初開催	6月	リコーが、(社)環境生活文化機構から「リサイクル功労者」表彰を受ける
6月	全世界のグループ会社でリコーグローバルエコアクションを開催	6月	東北リコー環境ボランティアグループが、宮城県柴田町から「環境美化功労者表彰」を受ける
6月	第1回リコー地球環境月間シンポジウム開催、企業やNPO関係者などが集う	6月	リコーエレメックス岡崎事業所が、愛知県岡崎市から「環境活動表彰」を受ける
7月	全世界のリコーグループで製品含有化学物質マネジメントシステムを構築	9月	四国リコー香川支社が「香川県環境配慮モデル事業所」に認定される
7月	GELJETプリンターカートリッジ郵便回収実績に基づき、緑の地球ネットワーク「カササギの森」に第4回目の寄付を実施	10月	リコーの循環型ペットボトルラックが、(社)日本包装技術協会による2006日本パッケージコンテストの「大型・重量包装部門賞」を受賞
7月	中国・上海理光で、「購買方針説明会」を開催	10月	imagio トナー タイプC2が、2006年度グッドデザイン賞(Gマーク)の「エコロジーデザイン賞(経済産業大臣賞)」を受賞
7月	第5回リコー親子自然教室開催	10月	リコーマイクロエレクトロニクスが、(財)クリーン・ジャパン・センターによる資源循環技術・システム表彰の「奨励賞」を受賞
9月	欧州のリコーグループ各社がヨーロッパモビリティウィークに参加	10月	デジタルフルカラー複合機 Aficio (imagio) MP C1500シリーズが、エコプロダクツ国際展 (EPIF) 2006で「Eco-Awards」銀賞を受賞
9月	第5回リコー森の教室を長野県黒姫・アファンの森で開催、森林保全リーダー計56名に	11月	リコーが、エス・ピー・ファーム社による企業の「森林保全度ランキング」で総合第1位
9月	第19回リコー環境ボランティアリーダー全社会議開催	2007年 1月	リコーが、カナダ・コーポレートナイツ社による「世界で最も持続可能な100社(グローバル100)」に3年連続で選出される
10月	リコー沼津事業所で、重合同ナー「P×Pトナー」の量産工場竣工式	1月	リコーアジアインダストリーが、深圳市より「鵬城減廃卓越企業」として表彰される
10月	第23回リコー自然教室・初級編開催、環境ボランティアリーダー計379名に	1月	デジタルフルカラー複合機 imagio MP C1500シリーズが、第17回省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞
10月	リコーアジアパシフィックとリコーシンガポールが「エコプロダクツ国際展 (EPIF) 2006」に出展	2月	リコー沼津事業所北プラントとリコー厚木事業所が、エネルギー管理優良工場「関東経済産業局長賞」を同時受賞
11月	リコーが日本科学未来館オフィシャルパートナー契約に調印	2月	リコーマイクロエレクトロニクスが、エネルギー管理優良工場「中国経済産業局長賞」を受賞
12月	環境調和型高速デジタル複合機 imagio Neo 751RC/601RCシリーズを発売	3月	リコーの環境経営ホームページが環境goo大賞2006の「優秀賞」を受賞
2007年 2月	リコーが進める再植林プロジェクトの「方法論」を、国連CDM理事会が承認	3月	リコーグループサステナビリティレポート2006(環境経営報告書/社会的責任経営報告書/アニュアル・レポート)が、第10回環境コミュニケーション大賞の環境報告大賞「環境大臣賞」を受賞
2月	第13回リコーグループ環境経営大会開催、テーマは「環境経営を深化させよう!」		
2月	環境調和型デジタル複合機 imagio Neo 452RC/352RCシリーズを発売		